

ロジスティクス・エージェントが変える 物流の未来

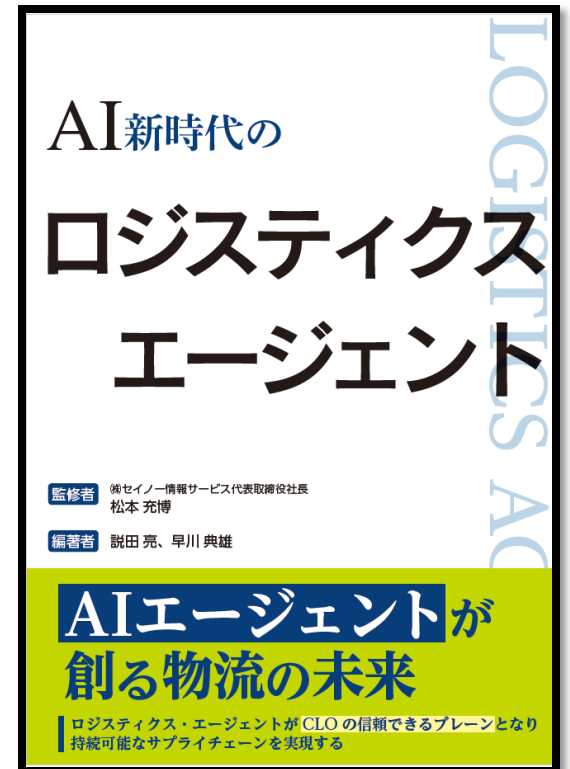
2026/02/20



セイノー情報サービス

LLP事業部BRAISグループ 久富華

BRAIS
Bigdata Robot AI IoT Sharing



アジェンダ

はじめに

- 1．物流業界の情勢のDXの方向性
- 2．ロジスティクス・エージェントの概要と活用イメージ
- 3．今後の展望

まとめ

はじめに

会社概要

 株式会社 **セイノー情報サービス**

設 立 1984年3月1日
資 本 金 100百万円
株式構成 セイノーホールディングス(株) 100%
売 上 高 15,294百万円 (2025年3月期)
従業員数 491名 (2025年4月現在)

事業内容 付加価値データ通信サービスの提供、コンピュータによる情報の処理
ソフトウェアの開発および販売
コンピュータおよび関連機器の販売リースレンタル、コンピュータシステムの管理運営
情報機器の調達、製造、検査、納入、設置、回収、保管サービスの提供
データベースの索引サービスの提供、貨物利用運送事業、倉庫業、不動産賃貸事業
労働者派遣事業、前各号に関する調査研究教育およびコンサルティング
前各号に付帯する事業

事業分野 外販事業 一般企業の物流ソリューション提供
内販事業 セイノーグループの情報戦略展開

事業所	本社	岐阜県大垣市	3PL拠点	厚木物流センター
	東京本社	東京都中央区		松戸物流センター
	ソフトピア事業所	岐阜県大垣市		新習志野物流センター
	大阪支店	大阪市淀川区		久喜物流センター
	厚木事業所	神奈川県厚木市		岐阜物流センター
	長崎ラボ	長崎県長崎市		豊田物流センター

【プライバシーマーク】



【ISO27001】



IS 601357 / ISO 27001

【ISO27017】



CLOUD 684288 / ISO 27017

【ISO9001】



JQA-QMA15832

MS
CM009

【ISO9001/ISO14001】



ISO 9001 ISO 14001

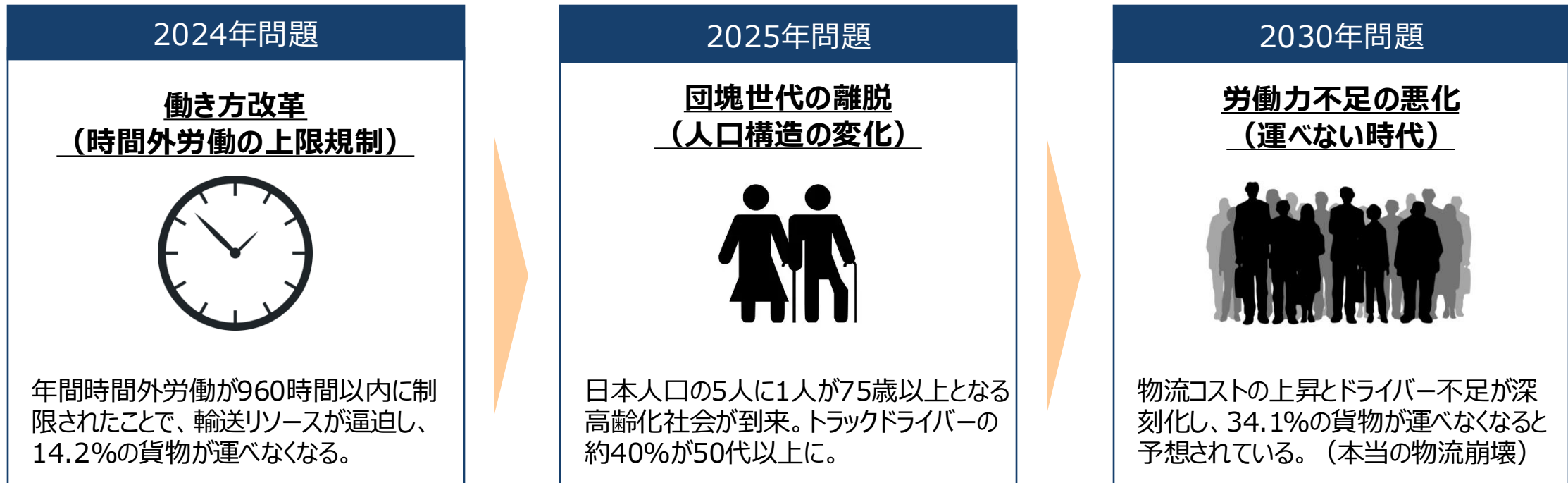


1. 物流業界の情勢とDXの方向性

1. 物流業界の情勢とDXへの期待値

1-1. 物流業界を取り巻く外部環境と、進行する「運べない時代」

構造的な労働力不足により、物流の持続性に対するリスクは加加速度的に高まっている



ただし**労働力は現場のみならず、管理者も不足している**

出典名：野村総合研究所「物流クライシスからの脱却」（2023年）
国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」etc

1. 物流業界の情勢とDXへの期待値

1-2. 管理者の業務と負荷

管理業務の高度化と人手不足により、管理者の負荷が限界に達している

①物流業界の人手不足率 約70%

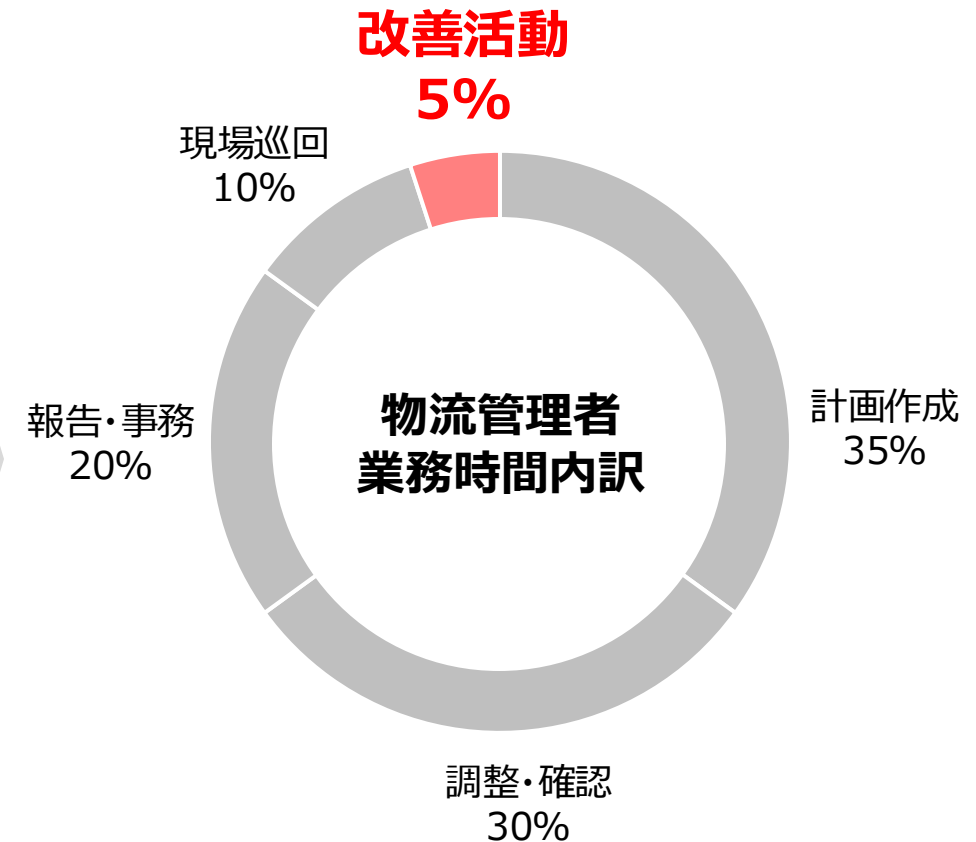
建設・物流業での7割が正社員不足を感じており、管理業務を担う人材の確保も困難な状況

②CLO選任義務化

物流統括管理者（CLO）の選任が義務化され、現場管理に加え、経営・全体最適視点での判断業務が求められている

③2024年問題による 業務負荷増加

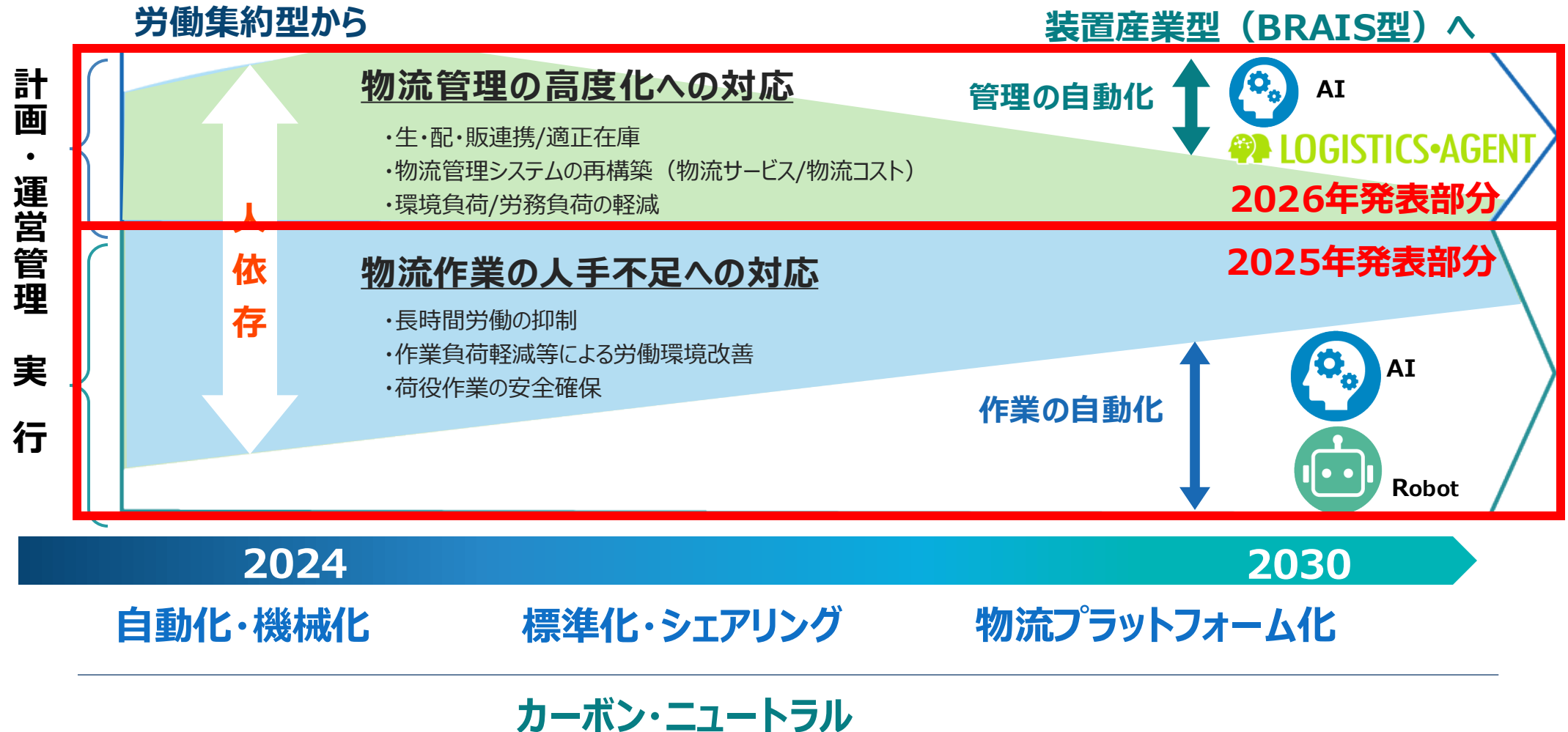
改善基準告示改正のドライバー残業規制により、配車調整・進捗把握・例外対応など管理者の判断負荷が増大



1. 物流業界の情勢とDXへの期待値

1-3. 企業物流が向かうべき方向

企業物流の「労働集約型」から「自動化」へのトランスフォーメーションが必要不可欠



2. ロジスティクス・エージェントの概要

2. ロジスティクス・エージェントの概要

2-1. ロジスティクス・エージェントとはなにか

これまで担ってきた人に替わってAIが現場状況を分析判断し、
未来を予測して、改善策など次のアクションをガイド



物流計画立案
(倉庫・輸送手配)

改善余地分析
改善指南

異常の発見・対策
(遅延・トラブルなど)

事故予防
ヒヤリハット対策

現場作業指示
部門間調整

2. ロジスティクス・エージェントの概要

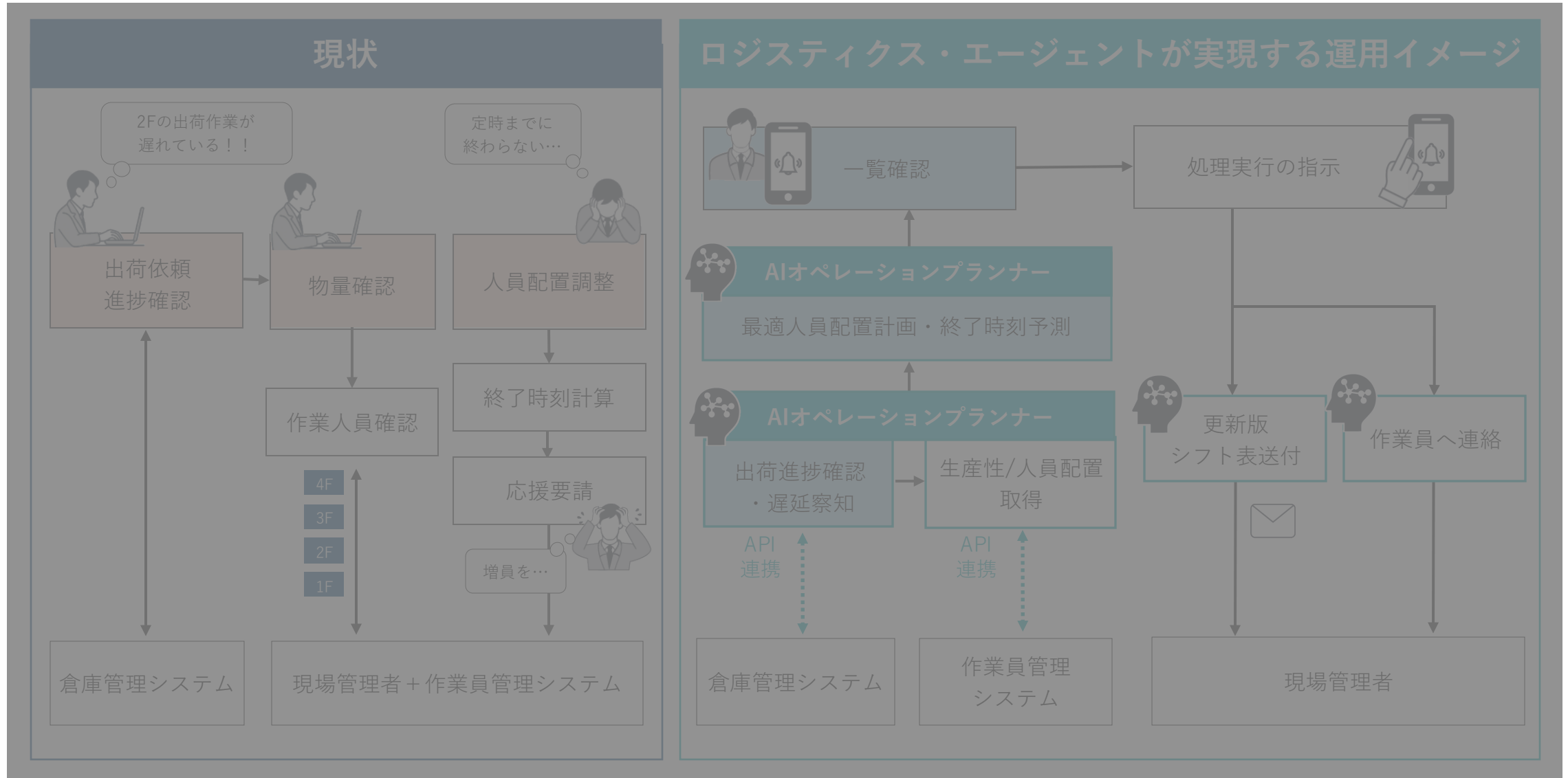
2-2. 物流マネジメント領域の期待値

現場から運営管理までを繋ぐ“AIセンター長”として機能していく必要がある

営業管理	アセットとレイアウト ⇒倉庫スเปック提案、レイアウト最適化シミュレーション 体制づくりと単価設定 ⇒作業量に基づく人員見積と標準作業単価の提案 システム構築 ⇒センター要件に即したWMSの設計補助・マスタの抽出 
計画管理	輸送手段の調整 ⇒出荷指示・納品条件をもとに最適な配送手段の提案 作業人員調整 ⇒物量波動をもとに日別・時間帯別の最適人員配置の提案 
運用管理	業務進捗の確認 ⇒作業実績・進捗をリアルタイムに収集し、遅延や偏りの自動通知 帳票・データ生成 ⇒出荷指示・在庫情報をもとに定型帳票を自動生成 顧客問合せ対応 ⇒荷主問合せ内容の履歴分析・自動応答テンプレートの提示 マニュアル支援 ⇒操作ステップのナビゲーション・画像付き手順ガイドの自動提示 
改善活動	業務分析とKPI管理 ⇒各種実績のKPIを自動収集・異常値・改善余地を可視化 業者選定支援 ⇒業者実績(納期遵守・コスト等)を比較し選定の意思決定支援 
その他管理	作業・新人教育 ⇒作業・新人社員に対し、業務・システムの教育が必要 

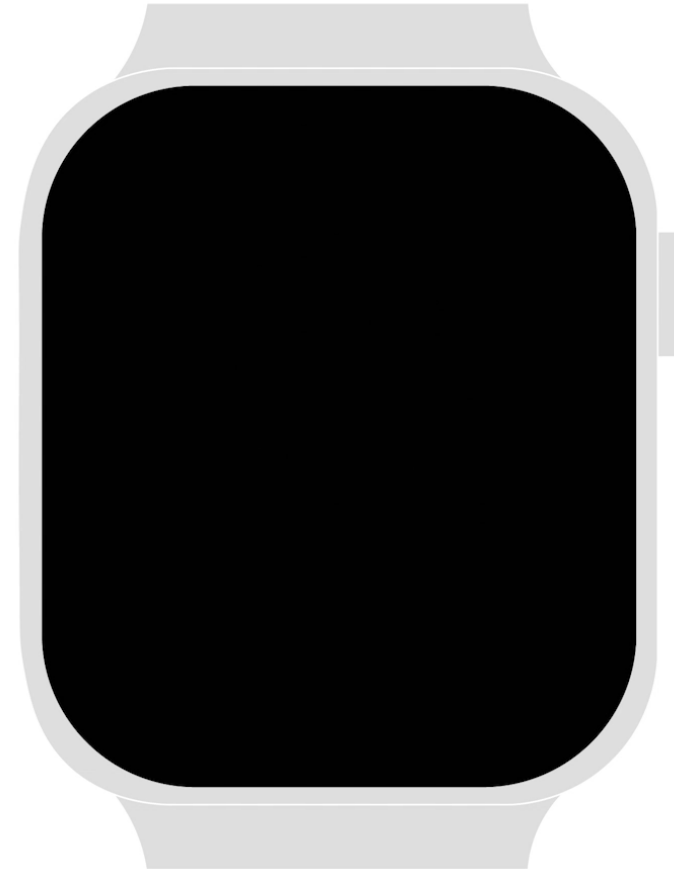
2. ロジスティクス・エージェントの概要

2-3. ユースケース紹介（作業の進捗確認）



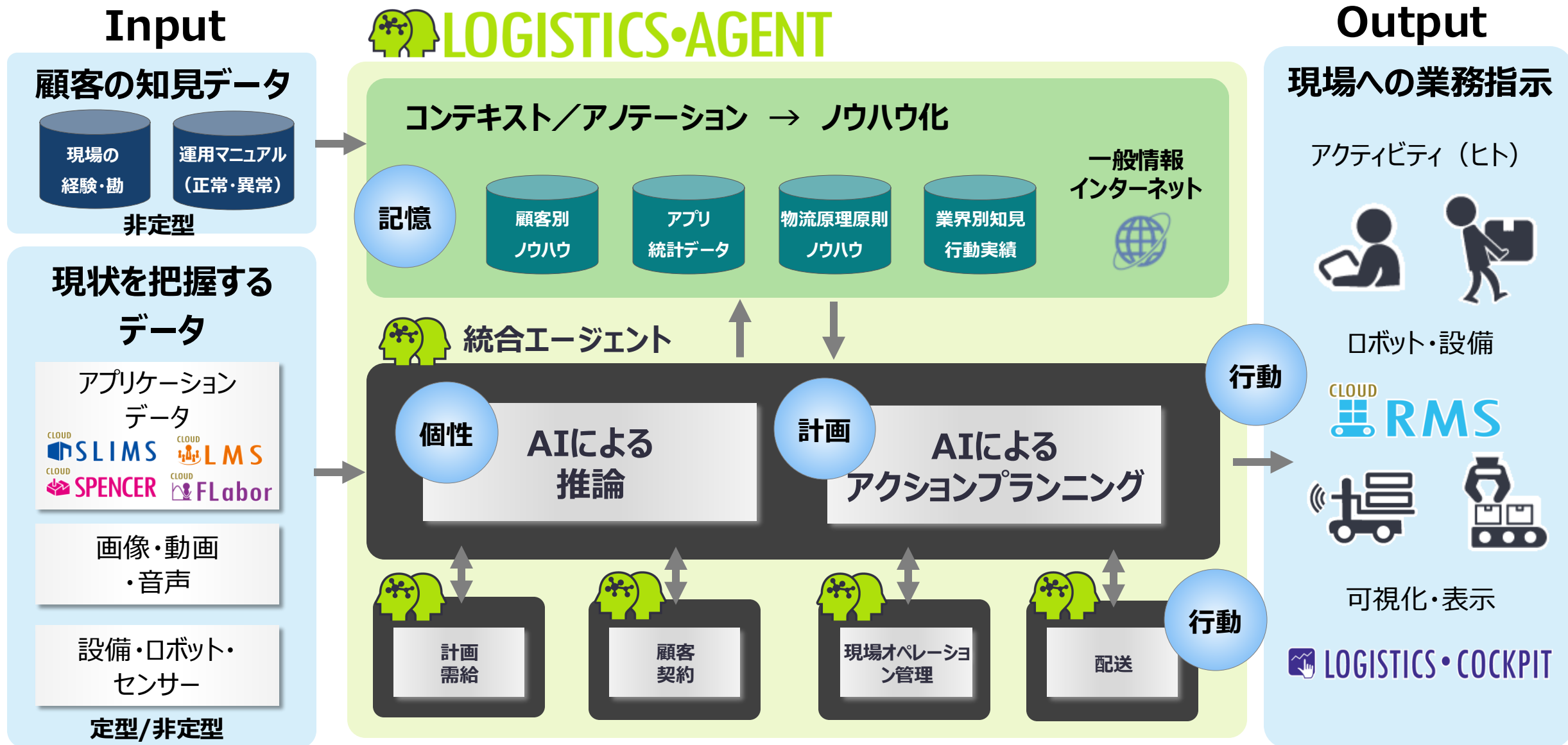
2. ロジスティクス・エージェントの概要

2-4. ロジスティクス・エージェントの運用イメージ（作業の進捗確認）



2. ロジスティクス・エージェントの概要

2-5. ロジスティクス・エージェントの仕組み

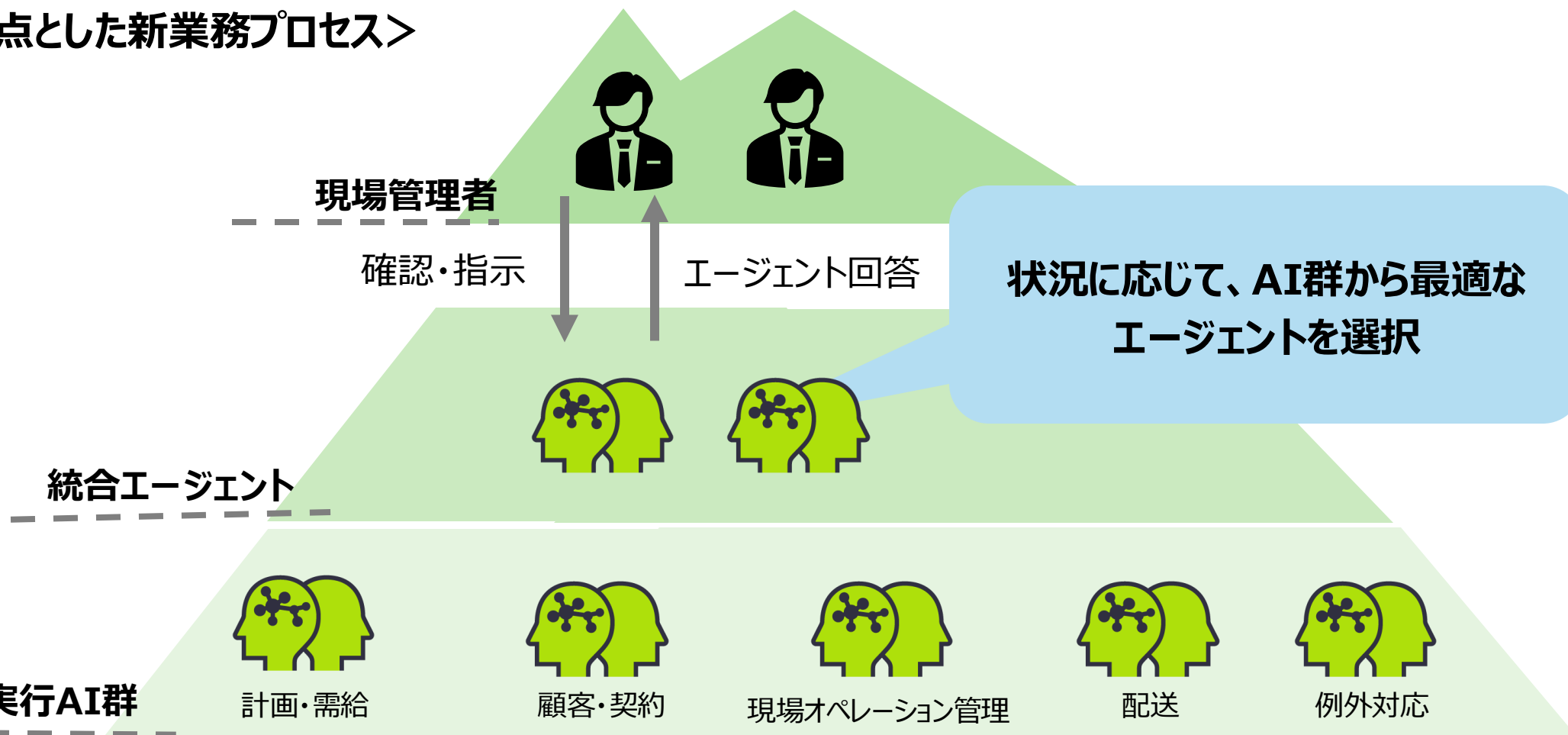


3. 今後の展望

3. 今後の展望

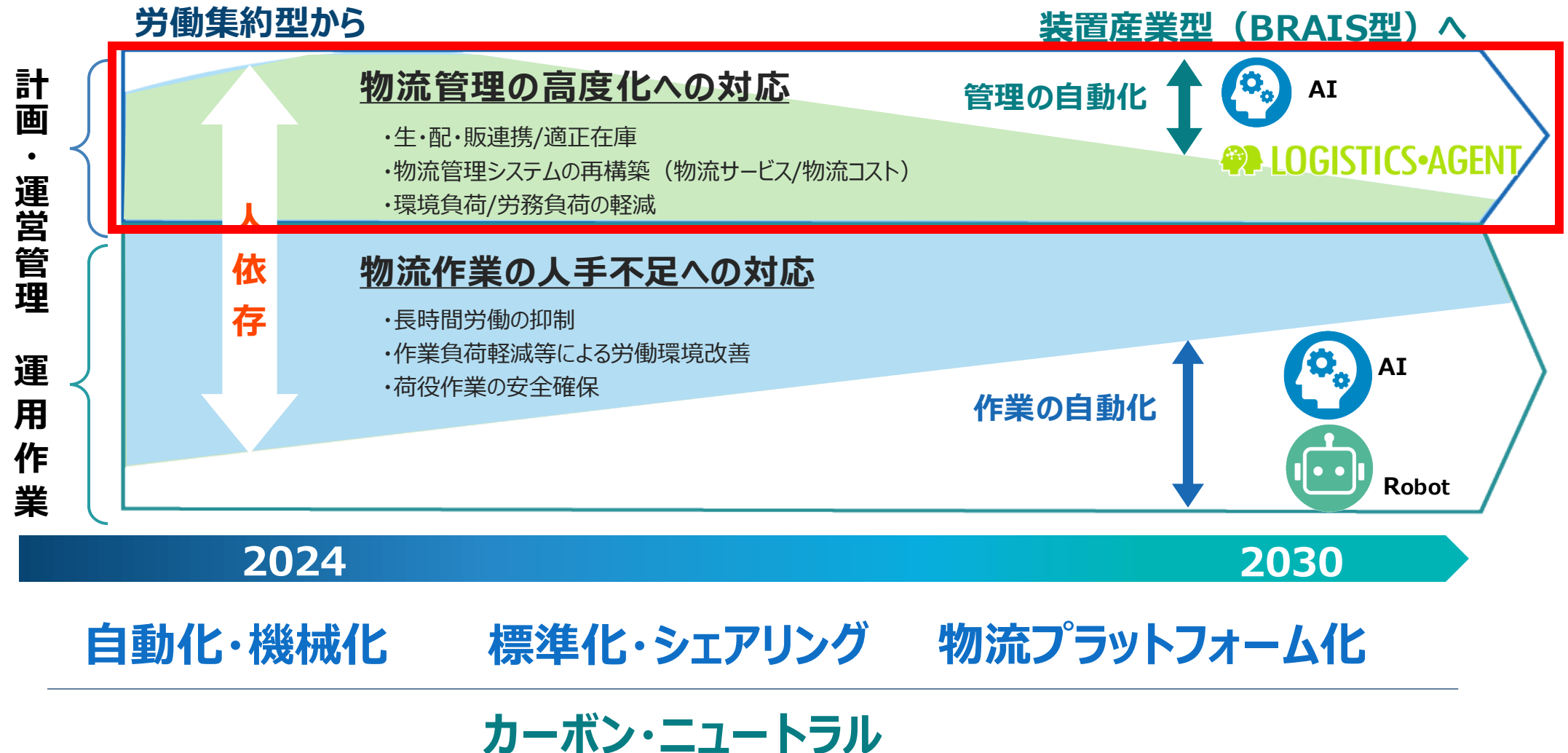
人は実行者ではなく、意思決定者となり、人とAIが共に機能する組織運営を目指す

<AIを起点とした新業務プロセス>



本セッションのまとめ

エージェント技術が、人依存が大きかった業務を担える段階に進化している





ReBUILD & MANAGE